

## 轉々

△ □ ○

△五號館もいよ／＼取拂ひのとだがこの秋の展覧會は何處でやるのかしら。

○展覧會も二三年休んだらよからう、あんなブラットホームのやうな建物は無くなつた方がよい。そうすれば自然より立派な會場が出来やうから。

□展覧會に追はれて、未製品やら一夜漬を出して責め塞ぐ人も少なくないが、それ等の人の爲めには二三年休んで徐々と傑作を作らせるのもよからう。

△二三年繪を見せなかつたら世間の人達に繪の有難味がわかるかも知れない。

○近來洋畫の盛んなるは驚くべして、美術學校の入學者は大半洋畫に赴くといふ始末、今年は撰科はたつた二人だけしか募集しないとの話だ。

△もう十年もしたら世界を愕かすやうな大家が盛んに出るよとてあらう。

○此頃僕は何となく動いたものが畫きたくなつた、東京市中の狭くゴタ／＼した處に屢々好畫題がある、あれをやつて見たい。

□神田川筋、御深端、下谷淺草邊などに繪にしたい處が澤山あるね。あの蒼黒い水、煙りの上つてゐる船、崩れた煉瓦塀の色、土管の毀れなど暗い濛い色のうちに何とも云へぬよい心持の趣きがある。

△船の煙りの中からボンヤリ船頭の顔が見えてゐるなどと妙詠だが實に六づかしい。

○こいつを描くには今迄のやり方ではいけぬ。

□この間所謂御詠の場所で作つて見たが、同じ現象は十分間位しかない。空の色でも變ると、水は明るくなる、煙りは淡くなる、一切調子が違つて来てとても怒々としてはいられない。

○海があつて、松があつて、白帆が見えるなんていふ、所謂佳い景色が吾々には物足らなくなつて來た。

△矢張飽きるのかね。

○飽きるのではない進歩さ。

△丁度繪の初めたてに、所謂佳い景色に苦しむやうに、吾々も此新しい畫題には大苦しみをせねばならぬ。

□要するに此苦しみは非常であるが、それだけ面白い。今年はその方面へ發展したいものだが、市中の寫生は人だからがするのて閉口さ。

△實際市中を觀察して歩行くと、好畫題到處にありて、わざ／＼景色をとりに旅行するのは愚だと思ふね。

□勿論さ。吾々はよい繪を描いて來やうと思つていつも旅行しては失望したものだが、近來は遊びに往く考でやるから、樂しみも深く、時には思はぬ掘出物もある。

○繪は出来なくとも見聞て何かしら利益があるから旅行は止められないね。

□今度の『みづゑ』の表紙(第九號を指す)は殆ど白紙に型が打出



してあるといふやうなものだ、あんまり濫過て是では人の目に  
つくまい。

○ 近來は雑誌の表紙といふと出来る丈け俗悪に花々しいもの許  
りだから、其間に挿まつたら却て注意を惹くかも知れない。

△ 目についても着かなくつても、美術雑誌は讀者が極まつてゐ  
るから一向御構ひなしてあらう。

\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*



のもしろ怖 キガヘ工作合



筆 勇 木 牛

○  
口繪の説明は、石版印刷手後れになりしたため、  
執筆しがたく、不得止次號へ廻したり、讀者  
諒焉

\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*